

自然博物館発見ノート

**野外** いろいろな岩石コース

見学日	年	月	日
-----	---	---	---

年	組	氏名
---	---	----



※HP>学習支援>解説と案内（館内・野外）からダウンロードできます。

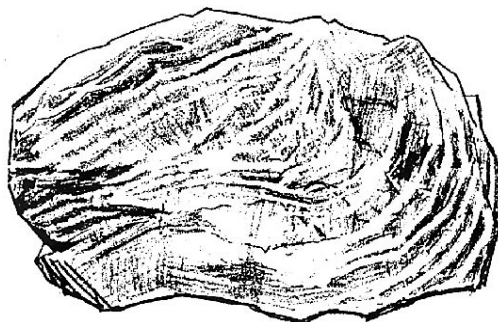
野外セルフガイド「地学」※を見ながら園内をまわって、岩石や化石の観察をしましょう。次の7つの岩石について、調べましょう。

1. ③ <sup>ねん ばん がん しゅうきよく</sup>粘板岩(褶曲)

この石は細かい粘土の粒がつもってきた地層が固まったものです。

なぜこんなにぐにゃっと曲がったもようが入っているのだろうか。その理由は次のどちらだろう。

- ア もともとでこぼこの所に粘土がつもったからこういう石になった。
- イ 最初は平らだったけれど、押されてまがってしまった。



<sup>ねん ばん がん</sup>粘板岩

2. ⑥ <sup>かっ せき へん がん</sup>滑石片岩

この石は見るよりもさわってなでてみた方がよく性質がわかります。さわってみた感じを書いてみよう。

3. ⑨、⑩、⑪の3つの岩石を順番に見てみよう。

粒の大きさの順番はどうか？大・中・小で書いてみよう。

⑨       ⑩       ⑪

この3つはもともと同じようなものが固まってできたものですが、なぜ粒の大きさがちがうのだろう。その理由を考えて書いてみよう。

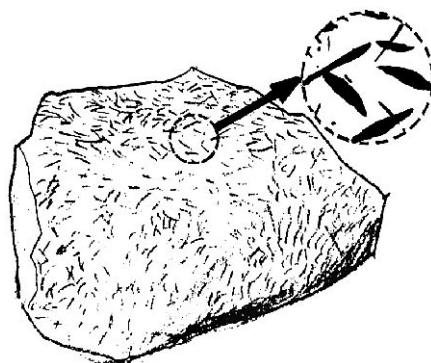
4. ⑫透閃石かんらん岩

おもしろいもようが見えます。このもようはなぜついているのでしょうか。次の3つのうちから選んで書こう。

ア ササの葉がまじって固まったので化石となってもようがついた。

イ 岩石ができるときに自然にこういうかたちのつぶができた。

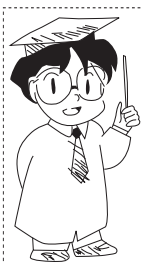
ウ 原始人がおまじないに書いた。



透閃石かんらん岩

5. ⑬フズリナ石灰岩

この石には小さくて丸いもようがたくさん見えます。ルーペでよく見てみましょう。右のわくの中に書いてみよう。



丸いもようは大昔、海にすんでいたフズリナ（有孔虫）という小さなからをもった生き物なんだ。石灰岩の中に化石として見つかるんだよ。